

総合計画審議会 第3分科会

委員からの意見・指摘等を踏まえた、市としての対応を記載

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策9 生活安全		
1	【視点の追加(展開方向1)】 ・街路灯などの都市環境整備面での防犯対策の視点を追加できないか。(室崎委員)	展開方向①に包含される視点ですが、さらに施策13のキーワードに「安全で安心な」を追加しました。
2	【表現方法(課題・展開方向2)】 ・「関連部署の連携」など、庁内の連携に関する表現の削除。(青田会長)	庁内連携の表現を削除します(全体の文言についても課題と展開方向の記載内容の整理に伴い修正します)。
3	【視点の追加(展開方向1)】 ・人と人とのつながりが生活安全に結びつくという視点を展開方向に追加できないか。(花田委員)	キーワードに「地域住民の参画」を追加します。
【施策名】施策10 消防・防災		
4	【代表指標】 ・市民の自助、共助の意識向上が測れる指標を検討できないか。Ex)マイタイムラインの作成率(仁保委員、青田会長)	・災害対策では「市民への災害情報の確実な伝達」が非常に重要であることから、次期総合計画の代表指標につきましては、「市民が自ら防災情報を取得している割合」を設定予定です。 なお、ご指摘の「マイ避難カード(*)を作成している市民の割合」につきましても、今後の施策を推進していくうえで、重要であることから、総合計画の進捗管理を目的に実施している施策評価の指標への設定を検討してまいります。 (*)本市では、「マイタイムライン」を「マイ避難カード」と呼称している
5	【表現方法(展開方向1)】 ・『消防』の展開方向をもう少し具体的に表現できないか。(青田会長)	展開方向の各項目では、主に行政に係る体制の充実強化について記述しており、それらを統括する表現として「消防力の充実」に修正しました。
6	【表現方法(現状)】 ・現状に記載の「生活様式の変化に伴う災害件数の変化」はどのような変化があったのか具体的な記載の検討。(室崎委員)	参照に貼付している災害件数の統計表に、件数の変化に言及する記述を追加しました。
【施策名】施策11 地域経済・雇用就労		
7	【代表指標】 ・地域経済全体の動きが測れる指標の再検討。アウトカム指標。(加藤委員、小坂委員、村田委員)	代表指標を①あま咲きコインの加盟店舗数、②市内事業所に就労した求職者数から①イノベーションに向けて新たな事業にチャレンジする人・事業所を増加させる、②尼崎市内有効求人倍率が全国有効求人倍率を上回るに変更します。
8	【表現方法(全体)】 ・尼崎の産業の活性化(第2創業支援や新規事業者の支援)に資する支援の具体的な取組内容の記載の追加について検討。(小坂委員)	展開方向②起業・イノベーションの促進において、「尼崎創業支援オフィス「アビーズ」や創業塾等を活用した創業支援の充実による市内起業の促進」と記載します。

No.	意見・指摘内容	対応
【施策名】施策12 環境保全・創造		
9	<p>【表現方法(課題・展開方向2)】 ・サーキュラーエコノミーの具体的な取組内容の追記の検討。(花田委員、加藤委員)</p>	<p>①サーキュラーエコノミーについては、近年取り上げられることが増えてきている一方、まだ抽象的な概念の部分が多く、国の法令や計画においても明確な定義が定められておらず、その取組内容や進捗・達成状況を評価するための指標等が定まっていない。</p> <p>②次期総合計画の計画期間においては、計画期間が重なる現行一般廃棄物処理基本計画で新ごみ処理施設の稼働に向けた焼却対象ごみの減量を本市の最優先の課題としている。本市ごみ焼却施設には、減量や再資源化可能な食品ロスや古紙・ペットボトル等の資源物、さらには本来搬入できない産業廃棄物がいまだに多く搬入されていることが分かっており、新ごみ処理施設の完成する令和13年に向けて、まずは限りあるリソースをこれらの減量や分別の促進に向け注力することにより、着実に焼却対象ごみの減量を図る必要がある。</p> <p>以上の理由から長期的に取組の必要性については認識しているところであるが、今回の総合計画の展開方向における具体的な取組内容としてサーキュラーエコノミーは追記しない。</p> <p>なお、環境負荷と経済成長のデカップリングを目指すという点では、サーキュラーエコノミーの考え方は環境モデル都市等の本市環境施策の目指す方向性と合致しているため、国の動向等も踏まえながら、環境基本計画や一般廃棄物処理基本計画の進捗管理を行う中で具体的な取組について今後も検討を行う。</p>
10	<p>【表現方法(課題・展開方向1)】 ・環境学習・啓発について記載の検討。(仁保委員)</p>	<p>・ご指摘に基づき、環境学習・啓発に関する課題を加筆し、施策の展開方向についても修正を行いました。</p>
【施策名】施策13 都市機能・住環境		
11	<p>【キーワード】 ・ユニバーサルデザイン、バリアフリーを追加できないか。(室崎委員)</p>	<p>キーワードに「誰もが使いやすい」を追加しました。</p>
12	<p>【キーワード】 ・脱炭素を追加できないか。社会インフラではなくグリーンインフラに変更できないか。(花田委員)</p>	<p>キーワードに「CO2排出量削減」を追加しました。</p>
13	<p>【表現方法(展開方向2関連)】 ・ブランディングがエリア単位であるということを示せる表現の検討。(加藤委員、青田会長)</p>	<p>展開方向②の中で、「地域の特色を活かした」や「地域ごとの取組」との記載をしています。</p>
14	<p>【表現の検討(全体)】 ・産業など経済界に配慮した記載を検討できないか。(小坂委員) ・経済界を活性化させるための土地利用等ハード面での取組の追加を検討できないか。(花田委員)</p>	<p>施策目標や、現状、主な課題に反映しました。 (施策目標)「くらしと産業を支える都市基盤」と追記しました。 (現状)「工場がある地域」を追加し、「様々な特性を持つ地域が共存している」に変更しました。 (主な課題)「操業環境への配慮」を追記しました。</p>